

3 都道府県医療機能調査の実態調査

(1) 目的

本調査研究事業において検討される指標の在り方を議論する基礎資料のひとつとして、直近の各都道府県における医療機能調査の実態を把握することおよび各都道府県において医療機能調査の際に実際に把握されている指標の把握を目的とした。

(2) 調査方法

全国の47都道府県の医療計画所管部門を対象とし、直近の医療機能調査に関連する調査票（医療施設調査票、患者調査票、およびそれに類する帳票類）、集計報告書等の送付を依頼した。

入手した調査票、報告書等から現時点で行われている調査の実態を把握するとともに、収集した調査票を精査して調査項目の洗い出しを行なった。また、報告書等から都道府県が実際に把握している指標を抽出し、整理した。

47都道府県中46都道府県から提供を受けた（回収率97.9%）。

(3) 調査結果

各都道府県における既存の統計調査、都道府県独自に行っている調査のうち主な調査の各都道府県の医療機能調査への利用・活用状況を以下に示す。

なお、表中「特徴的な項目」は都道府県からの報告を基に、事務局にて特徴的と思われる項目を選定したものである。

図表 4 都道府県既存統計・都道府県独自調査の活用概況（都道府県医療機能調査実態調査の結果）

凡例 ○：都道府県からの申告があったもの

△：都道府県からの申告ではないが資料等から含まれていると判断できるもの

No.	都道府県	統計・調査名称 (年度)	ア) 医療施設数・職員数	イ) 患者数	ウ) 施設・設備の状況	エ) 機能の状況	オ) 住民の意識・関心・意向	カ) 住民・患者の満足度	ク) その他	活用した調査項目	特徴的な項目
1	01 北海道	住民基本台帳人口							○	基準病床数の算定に市町村別の5歳階級人口を使用	・高度医療設備の保有状況
2	01 北海道	医療機能調査(14年度)	○		○	○				二次医療圏別の、診療科数別医師数、医療従事者数、高度医療設備の保有状況、対応可能な診療内容	・対応可能な診療内容 ・血清・解毒剤の保有状況